日韓比較を通して考える
資源循環社会への推進案

「令和8年度世界とつながる、消費者教育推進事業」を踏まえて

徳島文理大学　人間生活学部・人間生活学科3年
垣花　菜都子　　坂東　璃音

視察成果（サステナブルファッションの観点から）

リサイクリング アシスタントセンター （済州島）

ゴミの分別の種類が多く、
衣類は洗濯してから
アフリカなどの学校に寄付

まだ使える衣類が
多く捨てられていた

韓国の学生との 交流会 （済州漢拏大学・明知大学）

①リサイクルショップの通販
②韓服をリメイクし、
卒業式や観光地で着用

リサイクルとリメイクが
身近である

リメイクショップ （TURN UP）

様々なリメイク商品が
売られており、店内は
多くの人で賑わっていた

観光地に店舗があり、
観光客や若者が気軽に
リメイク商品を購入できる

日韓比較

済州漢拏大学・明知大学での交流会を通しての比較

共通点

・SHEINやTEMUなどの格安通販サイトを利用し、オンラインで買い物をする

・メルカリのようなフリマアプリが利用されている

・若者の間に意識格差がある

↓

ウルトラファストファッションが問題となっている

相違点

〈韓国〉
・韓服をリメイクしたものを卒業式で着用する
・日常的に衣服の共有や交換をしている
・タングンマーケットによる直接取引が行われている

〈日本〉
・卒業式では袴やスーツを着用する
・イベント事でない限り、衣服の取引が行われていない
・フリマアプリはネット上で完結する

日韓比較

サステナブルファッションの視点からの全体的な比較

	日本	韓国
EPR制度	・EPRに関する法制度の整備が進められているが、衣類に関する規制は無い ・企業側の自主的な取り組みが中心	・EPR制度拡大により、家電製品、タイヤ、包装材等が規制されている ・衣類に関する規制は無い
ウルトラファストファッション	・インフルエンサーなどによるPRが多い ・法規制がされていない ・安価・大量・流行が重視されている	・ファストファッションを購入する若者が多い ・広告による影響がある ・法規制がされていない ・安価・大量・流行が重視されている
ゴミの分別	・可燃ごみでの処分が主流 ・一部の自治体で衣類回収ボックス設置がある ・ユニクロ等の企業による自主回収ボックスの設置	・住宅街や公園などに衣類回収ボックスが設置されている ・ユニクロ等の企業による自主回収ボックスの設置

推進案

大学生ができるSDGs達成に向けた推進案

大学内でのフリーマーケット（地域密着型）

「使えるものは譲る」意識の啓発と
自分事として考える機運づくり

・常時、回収ボックスを設置しておき
定期的にフリーマーケットを開催する

・地域の人も出品できるよう枠を作る

・回収した衣類を一部リメイクし、
販売する

大学生が小中高校生に服育を行う

・フリーマーケットで余った服を活用し
小中高校生と一緒にリメイクをし、
環境に配慮した衣生活とは何かについて
実践を通して考える

・発達段階に応じた教育活動で、衣類を
長く大切に使うためのリペアや
アップサイクルの知識・技能を高める
（小物づくり、縫製技術の習得）

・SDGsについて教えるだけでなく、
大学生も共に学ぶ

推進案

全体的な推進案

ゴミの分別に衣類を設ける

自治体と企業が連携し、
学生ボランティアが回収した
衣類の中から再利用できるものを選別し、
企業へ提供する

服を処分する選択肢として、
可燃ごみに出すことが主流であるため、
リサイクルが気軽にできるようにする
（日常化）

リユース・リペア・リメイクを拡大する

①企業による廃棄衣服を再生利用する仕組みづくりと店頭やネット通販での販路拡大
②消費者の意識変革（長く大切に使う）とリユース・リペア・リメイクの拡大

企業も消費者もファッションを
楽しみながら、資源循環に貢献できる
（価値の見える化）

**服育を通して、社会全体で
資源循環が
基本・常識になることを目指す**

参考文献

・朝日新聞「EPR（拡大生産者責任）とは？日本や欧州の動向や問題点を簡単に解説」（https://www.asahi.com/sdgs/article/15167007）（閲覧日：2026/8/1）
・技術継承.com「繊維リサイクルの現状と課題」（https://gijutsu-keisho.com/technical-commentary/chemical-024/）（閲覧日：2026/8/1）
・국가기록포털「생산자책임재활용제도」（https://www.archives.go.kr/next/newsearch/listSubjectDescription.do?id=003929&pageFlag=C&sitePage=1-2-2）（閲覧日：2026/8/1）
・매일경제「헌 옷이 새 옷으로 재탄생하려면（https://www.mk.co.kr/jp/contributors/11215916）（閲覧日：2026/8/1）
・環境省「サステナブルファッションの推進に向けたアクションプラン～2030年廃棄量25％削減に向けて～」（https://www.env.go.jp/content/000386610.pdf）（閲覧日：2026/8/1）
・デカボLab「ウルトラファストファッションの誘惑に揺れるZ世代。環境への悪影響を知りながらつい購入してしまう「ごめんね消費」の現実とその背景を調査」（https://decarbolab.earth-hacks.jp/journal/decabo-lab-ultra-fast-fashion）（閲覧日：2026/8/1）
・朝日新聞「ファストファッションとは？その定義や問題点、私たちにできることを解説」（https://www.asahi.com/sdgs/article/16206348）（閲覧日：2026/8/1）
・청주대학교「【사회】 패스트 패션이 지구에 미치는 영향 - 지속가능한 슬로우 패션에 관심 가져야」（https://www.cju.ac.kr/cjunews/selectBbsNttView.do?bbsNo=1399&nttNo=123425&&pageUnit=10&key=3530&pageIndex=1）（閲覧日：2026/8/1）
・SDGs MAGAZINE「世界初のフランスの衣類廃棄禁止法から考える私たちができること」（https://sdgsmagazine.jp/2022/02/16/4870/）（閲覧日：2026/8/1）

ご清聴ありがとうございました